

人生まだまだチャレンジ！

～異文化から学ぶ～



8月11日（日）に豊富公民館で国際理解出前講座を実施し、12名が参加しました。

講師は、元教師で現在は山田公民館の館長を務める照本忠光さんです。照本さんはJICAのシニアボランティアとして2年間グアテマラの日本人学校に校長として赴任されました。

グアテマラは中央アメリカにあり、メキシコの南に位置します。面積は北海道と四国を足したくらい。農業国で湿度が低く常春のようなエアコン要らずの気候です。

4つの世界文化遺産があり、その一つであるアンティグアからはグアテマラ富士と呼ばれる美しい「アグア山」を見ることができます。また、アティントラン湖は「世界一美しい湖」と称され、フランスの文学者で飛行士でもあったサン・テグジュペリの『星の王子様』に出てくる「ウワバミに呑まれた象」に見える丘も、見どころのひとつだそうです。

グアテマラでは、6年の義務教育（小学校）を卒業する子どもは1割程度だそうです。公用語はスペイン語ですが、25ほどの部族がありそれぞれの言語を使っているため、子どもたちはスペイン語を小学校で習います。スペイン語を習得すると仕事の幅が広がり収入を得ることにつながるのですが、道端で物売りをしたり家業の手伝いをしたりするなど、出席日数が足りず卒業できない子どもたちが大部分です。それが負のスパイラルとなり、貧富の差が大きくなっているという現状があります。しかしながら、子どもたちは「学校へ行きたい」と願っています。

最後に照本さんから参加者に、「キタペナ人形」がプレゼントされました。子どもたちが手作りする厄除けのお守り人形だそうです。（大きさが分かるように、日本の500円玉を並べて置いてみました。）カラフルな衣装に身を包んだ人差し指の長さにも満たない小さな人形の向こうに、学校へ行きたいと願いながら働いている子どもがいると思うと、日本人が当たり前のように享受していること・ものがあることに思い至り、ありがたく感じられました。



最後の「ちょっと楽になる生き方」の中で、養護学校で一生懸命に取り組む子どもに向かって「頑張れ」ということに違和感を感じたという照本さんは、無理せず適度に良い関係性・距離感で「普通張る」と提案されていました。

今回の講座が、他の国の文化や暮らしを知ることを通して自分たちの個性に気づき、いろいろな価値観や文化と良い関係性を築いていく学びのきっかけになると幸いです。

豊富公民館の皆様、また、ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。